

実技試験(論述)対策のポイント(JCDA/キャリア協共通)

2023.9.17 更新

- **【当日】本文(逐語・事例記録)より先に問題と解答用紙をみる**
(どんな問題が出るかわからない、前回と違う出題形式の可能性があるので)
- **【当日】早く終わっても途中退席しない。ギリギリまで推敲する**
(体調不良や次の予定がある場合は除くが、たとえすぐに終わったとしても誤字脱字がないか矛盾している表現がないかと自問し最後まで諦めない姿勢が求められる。
ただし、どうしても退出したい場合は44分まで待つ。※45分以降は退出不可のため)
- **タイムマネジメントを意識する**
(試験時間は50分しかない。自分がどこに時間がかかるのか事前に見極めておく)
- **いきなり解答用紙に書き始めない**
(問題用紙の余白や裏面を使い、出来る限りキーワード・全体の構成などを整理する)
【注意】色ペン・フリクションペンは、第20回以降の試験では使えない。
- **解答用紙の行外や裏面には記載しない**
(語尾が少しはみ出る程度は許容されているようだが、指定されているルールは守る)
- **文字は採点者が読みやすいように下手でもよいので丁寧に書く**
(キーワードなどの加点を狙い、極小文字でたくさん書くことは明らかに出题者の意図を理解しておらず、採点者の立場になって考えていないと評価される)
- **解答する行(文字の分量)は9割以上うめることが望ましい**
(指定されている分量には「これぐらい書いて欲しい」という出题者の意図がある。
少なくとも良いなら最初から行数や文字数を減らしているはずである)
- **全体の解答に矛盾がないよう一貫性を持たせる**
(特に設問3と設問4の整合性が重要。設問3挙げた問題点が解消できる内容を設問4に書かれているか。また、クライアントに対するポリシーや表現方法は統一する。例えば文末の「ですます調」や「である調」、「CCt」や「CL」を全体的に統一する等)
- **箇条書きにする場合、文章をつなげて書く(ただし一文節は短く)**
(箇条書きにする場合、右側に空白ができないように文章を繋げて書くことが望ましい)
記載例:「方策は次の3点である。(1)～。 (2)～。 (3)～。・・・」
- **別の受験団体や技能検定2級の論述問題にも挑戦する**
(別団体や技能士の論述に取り組むことで自分が受験する団体の意図している解答の範囲が明確になる。【例】JCDA: 断定を好まない。キャリア協: 具体性を求められる。等)

以上です。皆さまの合格を祈念いたします。

出所・参考文献等のホームページアドレス

1.受験団体共通

- (1) キャリアコンサルタント論述試験(実技) 受験当日の注意点

【動画】 <https://www.youtube.com/watch?v=iD-tPUuGCc8>

【コラム】 https://note.com/career_counselor/n/n5ab3083ec127

- (2) 試験の範囲

<https://www.career-shiken.org/wordpress/wp-content/uploads/2019/12/past-03.pdf>

- (3) 一石三鳥の学習法

<https://www.youtube.com/watch?v=ahOWbOpsjmk&t=210s>

2.キャリアコンサルティング協議会

- (1) 「過去問題/学習情報」

<https://www.career-shiken.org/about/learninfo/>

- (2) 第23回解答例と解説

<https://www.youtube.com/watch?v=GNXcbuXhzOU&t=11s>

- (3) テストVlog

<https://www.youtube.com/watch?v=NCKrPJ6rh0U&t=67simai>

3.日本キャリア開発協会 (JCDA)

- (1) 「過去問題」

<https://www.jcda-careerex.org/past.html>

- (2) 第23回解答例と解説

<https://www.youtube.com/watch?v=rfA3RnzF2A8&t=7s>

- (3) テストVlog

https://www.youtube.com/watch?v=US-Bh_kNMMA

4.キャリアコンサルティング技能検定2級

「2級過去問題」

<https://www.career-kentei.org/about/learninfo/>

5.チバ塾の論述関連情報

<http://cda.schoolbus.jp/statement>

※チバ塾の受講生限定になりますが、解答例・論述対策のポイント等、資料のパスワードは、面接・論述対策講座のお申込み時の返信メール冒頭部分に記載しています。

以上